

初期認知症対応型カフェ推進事業(京都府舞鶴市)



若年性認知症や軽度認知症とその家族に対して、初期の段階で適切なケアや支援を提供する。本人、家族が気軽に集い、本人の「できること」「やりたいこと」を中心に様々な活動を行うことで、認知症状の穏やかな経過をめざすもの。市内2か所で実施。(精神科病院・デイサービス)。平成24年度は、本人・家族延べ94人が利用。

居場所・安心の場

認知機能向上に向け
たりハビリの場

学習と交流の場

情報発信



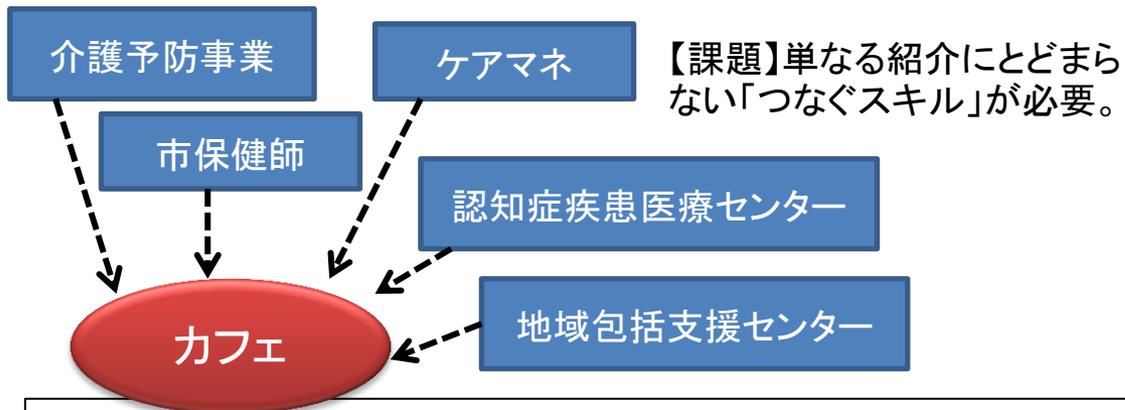
医師の関わり: 医療へのアクセスがスムーズ



～本人・家族が気軽に集まり、話したり、活動する自由な場～

活動の例: コーヒー焙煎・囲碁・茶話会・日曜大工・散歩……

【成果】家族同士がつながり、本人の今を理解することで、家族の対応が変わる。本人も穏やかに。本人のできる力の発見



発症期 ～ 初期

～ 中期

～ ターミナル





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①区町村名	舞鶴市
②人口（※1）	87,909人 ()
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 24,187人 27.5% () 75歳以上 12,738人 14.48%
④取組の概要	若年性認知症や軽度認知症およびその家族が、気軽に集い、本人の「できること」「やりたいこと」を中心にした活動を行うことで、認知症の経過を穏やかにすることをねらうもの。
⑤取組の特徴	市内2か所で実施。対象者を認知症当事者とその家族。精神科病院やデイサービス事業所で実施することにより、医療・福祉へのアクセスがスムーズにできるようにしている。家族も一緒に参加し、本人のプラス面をみたり、一緒に楽しむことで家族の安心感を得ている。
⑥開始年度	平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成24年10月より事業開始。市内2か所で、週1回2時間で開催。介護予防事業や包括への相談からカフェの利用へつなげている。
⑧主な利用者と人数	初期認知症本人とその家族、その他関係者（ケアマネ等） 延べ199人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	実施主体は、舞鶴市。事業委託方式で、東舞鶴医誠会病院、舞鶴市南デイサービスセンターへ委託している。東舞鶴医誠会病院には、認知症サポート医である医師がおり、運営に協力いただいている。
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	財源は、京都府地域包括ケア総合交付金 2,516千円（10/10）を活用
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	京都府地域包括ケア総合交付金 2,516千円(10/10)
⑫取組の課題	利用人数が増えないこと。ターゲットにしている初期認知症や軽度の段階の人への周知をいかにするかが課題。また、気軽に参加できる場ということで設置したが、認知症とみとめたくないという拒否感のためカフェにつながらないという声がある。家族、本人が認知症を前向きにとらえることができるような支援のため、支援者のスキルを上げることが必要である。
⑬今後の取組予定	25年度も継続して実施。カフェを含めた認知症についての普及・啓発を広く行うとともに、包括支援センター等によるアウトリーチ機能を強化していく必要がある。
⑭その他	家族向け冊子「認知症相談ガイドブック」を作成し、カフェでの利用のほか、市内相談機関に配布し、家族教育に利用。
⑮担当部署及び連絡先	舞鶴市役所保健福祉部高齢者支援課 0773-66-1012

- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

